

わいわいマガジン

2018年11月30日(金)

〒271-0044

千葉県松戸市西馬橋 5-1-5

吉村博税理士事務所

TEL 047-347-9009 FAX 047-347-9016

㈱わいわいビジネスコンサルタント

Email: yoshimura@wa-i.jp

老後の生活費の目安

老後のお金と平均余命

日本人の平均寿命は 2017 年では男性が 81.09 歳、女性が 87.26 歳で女性は世界 2 位、男性は世界 3 位です。

老後に必要なお金を平均余命で考えますと 60 歳時点の平均余命は男性 23.72 年、女性は 28.97 年となっていて、定年後の期間の長さの想定が必要になります。

老後の生活費は総務省の家計調査で高齢夫婦の無職世帯では月約 23.5 万円かかります。例えば 60 歳の夫と 2 歳年下の妻の例をみると夫が 83 歳で亡くなる 23 年間で約 6,500 万円、妻が残されて約 7 割の生活費で 88 歳までとして 7 年間は約 1,382 万円、両方合わせると約 7,900 万円程度です。

上記のように平均寿命までずいぶんとかかかると感じますが、人生 100 年時代となればもっと必要になるでしょう。またこの生活費でレジャーや旅行などを楽しみたい場合、月額 34.8 万円は必要とされています。

公的年金で賄う分は

年金の受給額は夫が会社員、妻が専業主婦という今までの厚生労働省のモデル世帯では夫婦で月約 22 万円です。

夫の年金受給は昭和 36 年 4 月 2 日以降生まれの方は全額 65 歳からですが、それ以前

に生まれた方は特別支給の老齢厚生年金が生年月日により支給されます。65 歳から年金支給される夫が平均寿命で亡くなり妻が夫の年金の 4 分の 3 の遺族年金を受けた時、夫婦の年金総額は約 6,000 万円です。別に医療費や介護費用、リフォーム等予備費も必要ですがここでは計算に入れません。

不足分はどうする？

以上を差し引きすると 2,000 万円程度は足りない事になります。預金、退職金、再雇用等で収入を得たりするのが一般的です。

老後の心配事でよく挙げられるのがお金、健康、生きがいの 3 つです。定年前の方にとってお金が最大の関心事です。昔より長生きできる時代となって必要額も増えていきます。支出は住宅ローンの繰り上げ返済、生命保険の見直し、現役時代から支出を減らし貯蓄に回す、その習慣づけが身につけば定年後の支出も抑えられるでしょう。この先の収入の柱は年金であっても、定年後の雇用継続をするか転職しないと 60 歳時点では年金は出ません。可能なら働いておいて健保や厚生年金に加入すれば年金額が増え健保の給付も受けられます。



健康で長く働く事がゆとりの老後を作るカギでしょう